

# 注 意 報

農技セ第5004号  
令和6年4月30日

各関係機関長 殿

徳島県立農林水産総合技術支援センター  
病害虫防除所長  
(公印省略)

令和6年度農作物病害虫発生予察情報について

令和6年度農作物病害虫発生予察注意報第1号を公表したので送付します。

令和6年度病害虫発生予察注意報第1号

令和6年4月30日  
徳 島 県

4月第4半旬から4月第5半旬における予察灯調査において、果樹カメムシ類の誘殺数が平年に比べて多く、今後果樹園への飛来および被害の拡大が予想されますので、注意報を発令します。

現地ほ場においては、本虫の発生状況を注視するとともに、適切な防除指導をお願いいたします。

作物名：果樹全般（特に、ウメ、モモ、ナシ、カキ）

病害虫名：果樹カメムシ類（ツヤアオカメムシ、チャバネアオカメムシ）

1. 発生地域 県内全域
2. 発生時期 5月上旬～
3. 発生程度 多（前年より多く、平年より多い）

#### 4. 注意報発令の根拠

- (1) 2月に実施したチャバネアオカメムシの越冬調査(11地点×2か所調査)では、成虫数が15.7頭/m<sup>2</sup>と、平年(2.6頭/m<sup>2</sup>)に比べて高い越冬密度であった(図1)。
- (2) 上板町及び勝浦町に設置した果樹カメムシ類予察灯への4月第4半旬から第5半旬における誘殺数が、上板町では、ツヤアオカメムシが370頭と、平年(8頭)の46.3倍、チャバネアオカメムシが49頭と、平年(5頭)の9.8倍誘殺された(図2、3)。また、勝浦町では、ツヤアオカメムシが15頭と、平年(3頭)の5.0倍、チャバネアオカメムシが4頭と、平年(1頭)の4倍誘殺された(図4、5)。
- (3) 高松地方气象台が4月25日に発表した1か月予報では、気温は平年より高いと予想されており、今後果樹園への飛来および加害が増加が予想される。

#### 5. 防除法等

- (1) 果樹園周辺の山林や雑木林から成虫が飛来してくるので、園内を巡回し、飛来を確認したら早急に防除を行う。
- (2) モモ、ナシでは、早めに袋掛けを終える。
- (3) 夜行性の虫なので、薬剤の散布は夕方か早朝に実施する。
- (4) 移動性が高いので、広域一斉防除により防除効果の向上に努める。

- (5) 飛来が続く場合は、継続的な防除が必要であるが、薬剤の影響でハダニ類、カイガラムシ類が増加する場合があるので、注意する。
- (6) 薬剤を散布する場合は、風向きに注意し、圃場周辺への薬剤飛散防止に努める。なお、風の強い日の散布は控える。
- (7) 今後の発生動向については、農林水産総合技術支援センターウェブページ内、病害虫防除所の各種データ (<https://www.pref.tokushima.lg.jp/tafftsc/t-boujosho/various-data/preliminary-guess-light/>) を参考にする。
- (8) 防除については、徳島県植物防疫指針を参照するとともに、薬剤の使用に当たっては、必ず農薬ラベル記載事項を遵守する。  
(<https://www.nouyaku-sys.com/nouyaku/user/top/tokushima>)

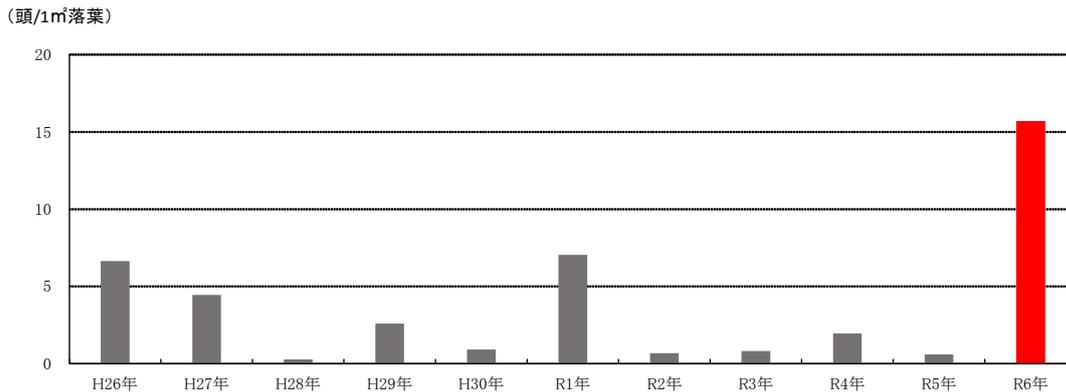


図1 チャバネアオカメムシの越冬数調査 (県全体)

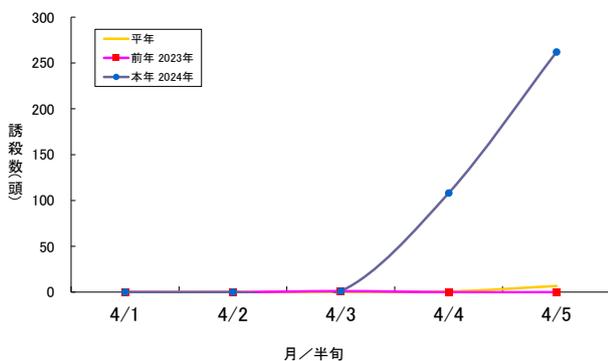


図2 予察灯におけるツヤアオカメムシの誘殺数 (上板町)

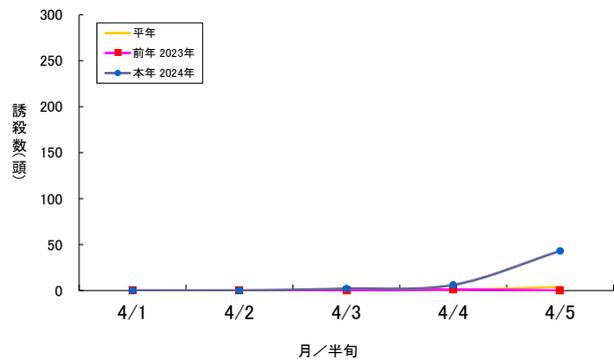


図3 予察灯におけるチャバネアオカメムシの誘殺数 (上板町)

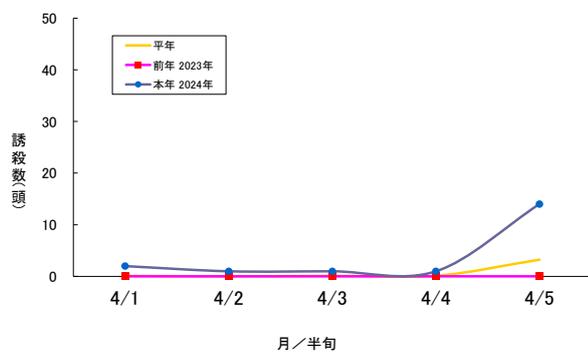


図4 予察灯におけるツヤアオカメムシの誘殺数 (勝浦町)

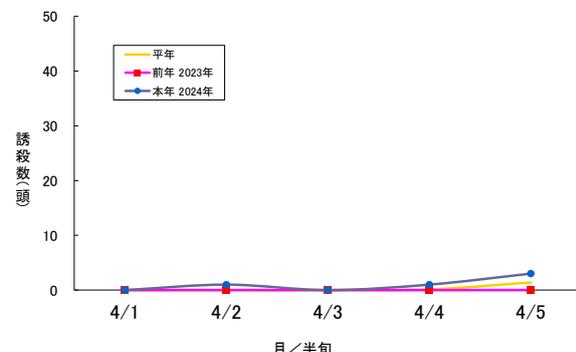


図5 予察灯におけるチャバネアオカメムシの誘殺数 (勝浦町)



図6 チャバネアオカメムシ

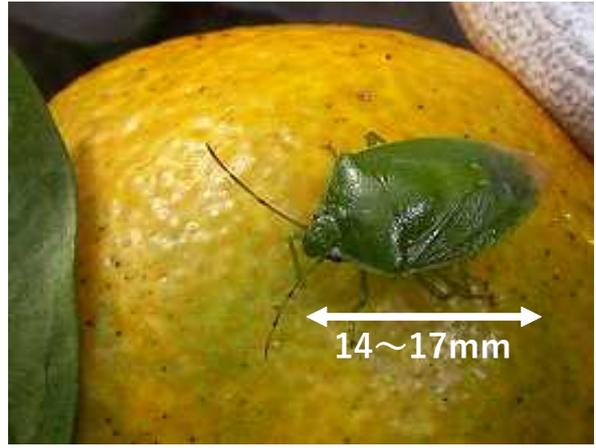


図7 ツヤアオカメムシ